

中央アフリカについて考える会

2014年度活動報告

発起人：内海博文（追手門学院大学社会学部講師）
櫛引祐希子（追手門学院大学国際教養学部講師）
リリィ（YogiYogi店主）

あいさつ

最初は「中央アフリカ共和国」がどこにあるのかも知りませんでした。いろんな偶然と少なからぬ人たちのおかげで、中央アフリカ共和国に関心を持つ人たちとのつながりが少しずつできていきました。そんなとき、中央アフリカ共和国でクーデターが起きました。2013年のことです。特別なことはできませんが、少しばかり何かできれば、と思い、「中央アフリカについて考える会」ができました。

急いで何かできるわけではないですし、大きなことができるわけでもありません。ちょっとしたことを、少しでも長く続けていければ、と思っています。気が向いたら、「中央アフリカについて考える会」の催しに足を運んでいただければ、と思います。そこからまた、思いもしなかったことが広がっていくと思います。どうぞよろしく願いいたします。

中央アフリカ共和国とは...

中央アフリカ共和国は、フランス語では「République centrafricaine（レピュブリック・サントラフリケーヌ）」、通称は「Centrafrique（サントラフリック）」、略称はRCAあるいはCARです。

国土は日本の約1.7倍の623,000平方キロメートル。453万人が暮らしています（2012年時点）。赤道直下の周辺に位置する熱帯気候で、雨季（11月～4月）と乾季（5月～10月）に分かれます。首都は国の南端にあるバンギ（Bangui）。主要産業は農業、林業、鉱工業です。

多様な民族（バンダ族、バヤ族、サラ族、ヤコマ族、サンゴ族、バカ族、ピグミー族など）と宗教（キリスト教＜カトリック、プロテスタント＞、イスラム教、伝統宗教）が共存する国です。現在わかっているだけで、72の言語が使われています。なかでも主要な言語は、フランス語とサンゴ語（Sango）です。

紀元前から人が暮らしてきましたが、19世紀末にフランスの植民地になります。1960年に中央アフリカ共和国として独立しましたが、独立後もなかなか安定せず、たびたび混乱を経験してきました。



2014年活動報告

初年度の2014年は、中央アフリカ共和国について多くの人に知ってもらうための活動を展開しました。

5月17日〈土〉、追手門学院大学梅田サテライトで開催した報告会「子どもたちに食べさせてあげたいー中央アフリカからの緊急報告ー」では徳永瑞子さん（NGOアフリカ友の会代表）による講演会と、牛島五郎さん（映像ディレクター）が撮影した現地の記録映像の上映会をおこないました。なお、この報告会の準備中、読売新聞の取材を受けました（5月13日朝刊掲載「世界最貧国 中央アフリカ 知ろう」）。



【5月17日】

10月12日〈日〉、高槻教会でパネルディスカッション「現地の声に耳をすませてー国際看護ってなに？ー」を開催しました。中央アフリカ共和国に滞在した経験のある加藤章子さん（助産師）、高塚綾子さん（看護師）、河野小夜子さん（助産師）、岡部紀代子さん（看護師）の4名にパネリストをお願いしました。現地で購入した華やかなエプロンドレスを身にまとった4名のパネリストは、国際看護の視点から中央アフリカ共和国で生活する人々の様子をお話しされました。



【10月12日】

こうした活動と並行して、「中央アフリカについて考える会」のメンバーの一人が経営するYogiYogiでは、中央アフリカ共和国で製作されたエプロンドレスやエコバッグが販売されました。また、複数の作家と学生と研究者が、徳永さんが書き下ろしてくださった詩をもとに、詩画集『1+1+1…のキモチ～すべての子どもと大人たちへ～』を制作しました（【小さな小さな絵本村12】9月7日から29日で展示）。さらに、「バザー de チャリーン」（7月に第一回。2015年1月まで計3回開催）や「中央アフリカ関連トーク企画 教えて徳永さん！おまけに内海さん！」（9月28日〈日〉）など、多彩なイベントがおこなわれました。

2015年活動予定

2015年は、中央アフリカ共和国に滞在した経験のある方を囲んでの談話会（5月30日〈土〉）や関係者へのインタビューとその記録活動などをおこなう予定です。

また、YogiYogiでは4月22日〈水〉から5月3日〈日〉まで「バザー de チャリーン4」を開催するほか、中央アフリカ共和国に関する様々なイベントを今年も企画します。

「中央アフリカについて考える会」の連絡先

（<http://www.golf-baxter.com/yogiyogi/centrafrique/>）

電話：072(657)9800 ※YogiYogi「中央アフリカの件」とお尋ねください。

E-mail：satoyukisan@yahoo.co.jp